



URL Filtering Software Blade

課題

Webがさらなる進化を遂げ、複雑化の一途をたどっていますが、従来型のURLフィルタリングでは職場からのWebアクセスを保護、制御することは非常に困難となっています。Webトラフィック自体も進化しており、URLトラフィックに加えて、埋め込みURLやWebアプリケーションを監視する必要も生じています。これらの課題に対処しながら、多様なユーザー層ごとにURLフィルタリングの条件を調整し、さらにWeb利用ポリシーについてユーザー教育を行うことは、セキュリティ管理者にとって極めて困難な課題となっています。

解決策

Check Point URL Filtering Software Bladeは、1億以上のWebサイトが登録されたクラウド・ベースのWebサイト・データベースを使用して企業やユーザーを保護します。セキュリティ・ゲートウェイへの完全統合で最適なWebセキュリティが実現し、アノマイザーなど外部プロキシを使用したフィルタリングの回避を防止します。また、Application Control Software Bladeと一体化したポリシーの実施により、Web 2.0アプリケーションを含む幅広いWebリソースに対する包括的なセキュリティが達成されるほか、UserCheckによりWebの利用ポリシーについてリアルタイムでユーザー教育を行うことが可能となります。SSLで暗号化されたトラフィックについても、ゲートウェイでスキャンして安全性を確認できます。

幅広いURLにリアルタイムで対応

URL Filtering Software Bladeは、1億以上のWebサイトが登録され随時更新されるデータベースに基づいて、Webサイトへのアクセスをリアルタイムで許可、禁止、制限します。この際、SSLで暗号化されたものを含め、すべてのトラフィックが検査の対象となります。コンテンツのカテゴリは、事前定義された50種類以上の中から選択できます。

Application Control Software Bladeとの統合でWebアクセスを包括的に制御

URL Filtering Software BladeとApplication Control Software Bladeの統合により、Webサイトのアクセス制御とインターネット・アプリケーションおよびウィジェットの利用制限が一元化され、セキュリティの向上とコストの削減が実現します。URL Filtering Software Bladeでは、数百万に及ぶWebサイトとWebページへのアクセスを許可、禁止、制限できます。Application Control Software Bladeは、4,500のインターネット・アプリケーションと24万以上のWebベース・ウィジェットに対する同様の機能を提供します。

* 2011年10月現在

製品の概要

Check Point URL Filtering Software Bladeは、クラウド・ベースのURLデータベース、SSL検査機能、Application Control Software Bladeとの統合により、あらゆるWebセキュリティ機能を集中的に実施および管理します。UserCheckとも統合されているため、Web利用ポリシーについてのユーザーへの警告および教育をリアルタイムで行うことができます。

製品の特徴

- URLフィルタリングとアプリケーション制御の統合
- 随時更新されるクラウド・ベースのWebサイト・データベース
- 1億以上のWebサイトに対するアクセスを許可、禁止、制限
- SSLで暗号化されたトラフィックを分析
- UserCheckによるユーザー教育

製品の利点

クラウド・ベースのWebサイト・データベースとUserCheck技術でユーザーを保護

- 1億以上のWebサイトが登録されたクラウド・ベースのデータベース
- 日々増加する新しいURLをリアルタイムで追加
- UserCheckにより、リアルタイムの警告で行為の是非を判断する機会をユーザーに与えると同時に、Webの利用ポリシーについて教育

Application Control Software Bladeとの緊密な統合によりWebの利用を包括的に保護

- あらゆるWebセキュリティ機能を集中的に実施および管理
- Webおよびアプリケーションのセキュリティ・ポリシーをユーザーまたはグループ単位で定義、実施、レポート
- 1億以上のWebサイト、4,500以上のWeb 2.0アプリケーション、24万以上のウィジェットに対応

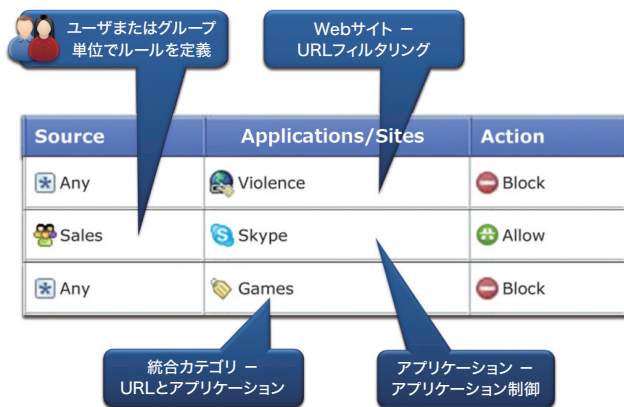
セキュリティを最適化し、TCOを削減

- URLフィルタリング機能をチェック・ポイントのゲートウェイに完全統合。外部プロキシを使用したフィルタリングの回避を防止
- 標準的でないポートを使用するトラフィックの検査にも対応
- ゲートウェイを通過するSSL暗号化トラフィックをスキャンして安全性を確認
- Software Bladeアーキテクチャをベースとしており、1クリックで利用を開始
- 従来型のポイント・ソリューションと比較して、TCOを最大90%削減



URL Filtering Software BladeとApplication Control Software Bladeの統合が実現するメリットは次のとおりです。

- ルールベースが1つに集約されるためポリシーの作成が容易となり、Webサイトとアプリケーションの双方に対して共通のカテゴリを使用できる。
- 管理コンソールが統一されて管理作業が簡素化される。
- 1つのレポート・システムでWebイベントを幅広く把握できる。



URLフィルタリング・ルールとアプリケーション制御ルールの統合

SSLで暗号化されたトラフィックの検査

ゲートウェイを通過するSSL暗号化トラフィックをスキャンして安全性を確認できます。トラフィックが通過する際、ゲートウェイは、送信元の公開鍵を使用してトラフィックを復号化し、検査を行います。問題がないことを確認後に、トラフィックを再暗号化して受信側に送信します。

SSL検査については例外をきめ細かく設定できるため、ユーザのプライバシーを保護し、企業ポリシーを遵守しながら運用することが可能です。検査すべきでない暗号化コンテンツについては、簡単なポリシーを定義するだけでゲートウェイをバイパスするように設定できます。

統合されたUserCheckによるユーザ教育

UserCheck™を使用すると、Webを利用中のユーザがポリシーに抵触する行為をしようとしたとき、その行為がポリシー違反であることを通知し、問題を是正するようリアルタイムで促すことができます。

ユーザは、Webセキュリティやその制御プロセスにおいて非常に重要な役割を担います。Webセキュリティを実現する最良の方法は、Webを利用中のユーザがポリシーに抵触する行為をしようとしたとき、その行為がポリシー違反であることを通知し、問題を是正するようリアルタイムで促すことです。URL Filtering Software Bladeの一機能として提供されるUserCheckを使用すると、この最良の方法を実践できます。これにより、社員の生産性と組織全体のセキュリティを向上させながら、IT管理者の貴重な時間を節約できます。



Webの利用ポリシーについてユーザ教育を行うUserCheck

ユーザ、グループ、マシンを認識

Webサイトへのアクセスの許可、禁止、制限は、ユーザ、グループ、そしてマシンID単位で行うことが可能で、アクセス制御の対象には単一のURLまたはURLカテゴリ全体を指定できます。

Source	Applications/Sites	Action
Any	Violence	Block
Marketing	Streaming Media	Allow
John_Adams	Dropbox	Allow

グループやユーザ単位できめ細かくポリシーを管理

URL Filtering Software Bladeは、Identity Awareness Software Bladeとの統合を通じたActive Directoryとのシームレスでエージェントレスな連携によってユーザを識別します。ユーザやグループ、マシンIDに関する情報を、ポリシー作成やレポート作成、管理作業に利用することが可能になります。

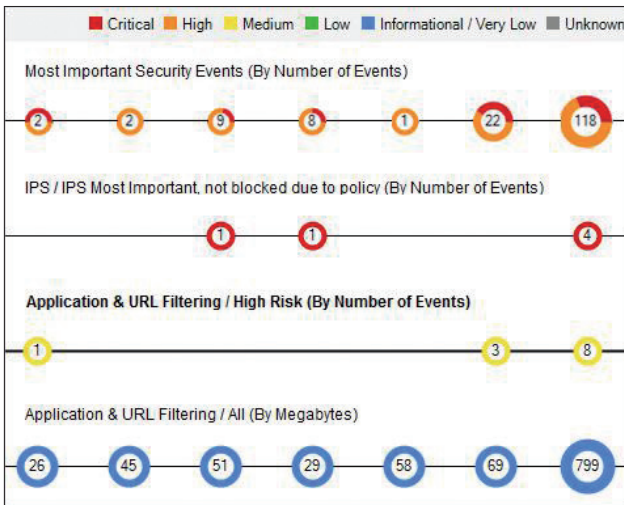


URLフィルタリングイベントでユーザを識別



360度の可視性とレポート機能

Web関連のセキュリティ・イベントを全体的に把握して、Webアクセス・セキュリティ・イベントを検出、防止できます。URLフィルタリングの基本的な役割は、不正なWebサイトや業務とは無関係なWebサイトへのアクセスを遮断することです。しかし、Webアクセス・セキュリティ・イベントを把握できなければ、セキュリティ・リスクが増大すると同時に、場合によってはネットワーク・パフォーマンスや社員の生産性に悪影響が及ぶこともあります。



URLフィルタリング・イベントとアプリケーション制御に関するイベントの統合管理

URL Filtering Software BladeはSmartEvent Software Bladeとシームレスに統合、Web関連のセキュリティ・イベントを網羅的に把握できます。これにより、Webアクセス関連のセキュリティ・イベントを確実に検出するだけでなく、それらの発生を防止できます。

Software Bladeアーキテクチャとの統合

URL Filtering Software BladeはSoftware Bladeアーキテクチャに統合されており、チェック・ポイントのあらゆるセキュリティ・ゲートウェイで容易に利用を開始できます。既存のゲートウェイでURL Filtering Software Bladeを有効にするだけで、従来型のスタンドアロンURLフィルタリング・ソリューションと比較して最大90%のコスト削減を実現できます。

チェック・ポイントのゲートウェイに完全統合

URL Filtering Software Bladeはチェック・ポイントのゲートウェイに完全統合されています。

- 外部プロキシを使用したフィルタリングの回避を防止
- すべてのトラフィックを検査可能
- 標準的でないポートを使用するトラフィックにも対応
- 1台のマシンでセキュリティを運用管理することでTCOを削減

大規模環境に対応したURLフィルタリング・ソリューション

- スループットは最大7 Gbps
- 同時接続数は最大50万
- ハイ・アベイラビリティ・クラスタリング

URL Filtering Software Bladeの仕様

サポートされているアプライアンス
Check Point 2200 Appliance
Check Point 4000 Appliance
Check Point 12000 Appliance
Check Point 21400 Appliance
Check Point Power-1
Check Point IP Appliance
Check Point UTM-1
Check Point IAS

サポートされているオペレーティング・システム
SecurePlatform
IPSO 6.2ディスク・ベース
IPSO 6.2フラッシュ・ベース



製品に関するお問い合わせ

チェック・ポイント・ソフトウェア・テクノロジーズ株式会社

〒160-0022 東京都新宿区新宿5-5-3 建成新宿ビル6F

<http://www.checkpoint.co.jp/> E-mail : info_jp@checkpoint.com Tel : 03(5367)2500

© 2003-2011 Check Point Software Technologies Ltd. All rights reserved.

Check Point, Abra, AlertAdvisor, Application Intelligence, Check Point DLP, Check Point Endpoint Security, Check Point Endpoint Security On Demand, Check Pointのロゴ, Check Point Full Disk Encryption, Check Point Horizon Manager, Check Point Media Encryption, Check Point NAC, Check Point Network Voyager, Check Point OneCheck, Check Point R70, Check Point Security Gateway, Check Point Update Service, Check Point WebCheck, ClusterXL, Confidence Indexing, ConnectControl, Connectra, Connectra Accelerator Card, Cooperative Enforcement, Cooperative Security Alliance, CoreXL, DefenseNet, DLP-1, DynamicID, Endpoint Connect VPN Client, Eventia, Eventia Analyzer, Eventia Reporter, Eventia Suite, FireWall-1, FireWall-1 GX, FireWall-1 SecureServer, FloodGate-1, Hacker ID, Hybrid Detection Engine, IMsecure, INSPECT, INSPECT XL, Integrity, Integrity Clientless Security, Integrity SecureClient, InterSpect, IP Appliances, IPS-1, IPS Software Blade, IPSO, Software Blade, IQ Engine, MailSafe, More, better, Simpler Securityのロゴ, MultiSpect, NG, NGX, Open Security Extension, OPSEC, OSFirewall, Pointsec, Pointsec Mobile, Pointsec PC, Pointsec Protector, Policy Lifecycle Management, Power-1, Provider-1, PureAdvantage, PURE Security, puresecurityのロゴ, Safe@Home, Safe@Office, Secure Virtual Workspace, SecureClient, SecureClient Mobile, SecureKnowledge, SecurePlatform, SecurePlatform Pro, SecuRemote, SecureServer, SecureUpdate, SecureXL, SecureXL Turbocard, Security Management Portal, SiteManager-1, Smart-1, SmartCenter, SmartCenter Power, SmartCenter Pro, SmartCenter UTM, SmartConsole, SmartDashboard, SmartDefense, SmartDefense Advisor, SmartEvent, Smarter Security, SmartLSM, SmartMap, SmartPortal, SmartProvisioning, SmartReporter, SmartUpdate, SmartView, SmartView Monitor, SmartView Reporter, SmartView Status, SmartViewTracker, SmartWorkflow, SMP, SMP On-Demand, SofaWare, Software Blade architecture, softwarebladesのロゴ, SSL Network Extender, Stateful Clustering, Total Security, totalsecurityのロゴ, TrueVector, UserCheck, UTM-1, UTM-1 Edge, UTM-1 Edge Industrial, UTM-1 Total Security, VPN-1, VPN-1 Edge, VPN-1 MASS, VPN-1 Power, VPN-1 Power Multi-core, VPN-1 Power VSX, VPN-1 Pro, VPN-1 SecureClient, VPN-1 SecuRemote, VPN-1 SecureServer, VPN-1 UTM, VPN-1 UTM Edge, VPN-1 VE, VPN-1 VSX, VSX-1, Web Intelligence, ZoneAlarm, ZoneAlarm Antivirus, ZoneAlarm DataLock, ZoneAlarm Extreme Security, ZoneAlarm ForceField, ZoneAlarm Free Firewall, ZoneAlarm Internet Security Suite, ZoneAlarm Pro, ZoneAlarm Security Toolbar, ZoneAlarm Secure Wireless Router, Zone Labs, Zone Labsのロゴは、Check Point Software Technologies Ltd.あるいはその関連会社の商標または登録商標です。ZoneAlarm is a Check Point Software Technologies, Inc. Company.その他の企業、製品名は各企業が所有する商標または登録商標です。本書で記載された製品は米国の特許No.5,606,668、5,835,726、5,987,611、6,496,935、6,873,988、6,850,943、7,165,076、7,540,013、および7,725,737により保護されています。その他の米国における特許や他の国における特許で保護されているか、出願中の可能性があります。P/N 500090-J* 2011.10 ※記載された製品仕様は予告無く変更される場合があります。